

快楽

苦痛

現代の麻酔はWWIIを契機にさらに進歩。無菌法や輸血・輸液療法、抗生物質の発見。(K)

エリック・ファシアン (Eric Fassin)
現代は個人主義化されているので、共有されたコードではなく、個々人がコードをブリコラージュしながらもっているのではないだろうか。

結論：我々は麻酔、精神分析、セクソロジーの子どもであるが、過去の人々がどのように苦しみ、喜んだかを再構築すること。

Roselyne Rey, Histoire de la douleur, 1995
Jean-Pierre Peter, De la douleur, 1993
「苦痛を和らげる装置としての麻酔についての論文は以上のものを参照すること。」

ダヴィド・ル・ブルトン(David le Breton)、苦痛を専門とする人類学者。
「苦痛とは、社会的に構築されたものであり、いかに苦痛を語るかってことが実は苦痛なのだ。厳密には、苦痛のシーニュ、徴候を、コードを、社会的構築したものである。」

1960 そのジェスチャーがなくなると、ただの性行為(?) フラート(誘惑と戯れのかげひき)の話もあったけれど。
1940 アメリカ映画の流行 長いキスシーン

(アメリカの性の歴史の研究には、快の話がまったくない。性の歴史を扱いながら、つつましいものになっている。)

XXe

ジャン・マリー・グルモー (Jean Marie Grimaud)
直接に身体に、生理学的に働きかけることを指摘。フランスの大学人はショックをうけた。

マルセル・プレヴォー (Marcel Prévost) 1862 - 1941
"Les Demi-vierge"
「半処女」あいまいなせくシャリティー。つまり、性行為と愛撫の間にあった時代が存在。この一世紀は歴史の中でも独立。

18世紀末から19世紀初にかけて、身体の表象に大転換があったことに注意。

アルフレット・ファルジュ (Arlette Farge) 1941-
「どうい理由で過去の人間の感受性が低いといえるか？」

苦痛による許容度の低下
cf フーコー「ギロチンの消滅」
また、フーコーの恋愛の歴史についてコルバンは「1860年代からのセクソロジーの言葉、フェティシズム、性的異常行為の分類、、、性行為の表象。歴史家は、セクソロジーの概念・表象以前のことを再構築すること」と説明。

XVIIIe

恋愛の歴史にとっての資料

1. 医者
2. 告解師
3. エロ文学

懺悔録 罪の告白に性生活の描写が描かれる。

肉体の結合から考える。
性愛行動は医師の管轄であったが18世紀に大きく変わる。理由として、妊娠の仕組みは男女ともに精子を出すと考えられていた。(卵子の発見は1840年代)

コルバンの資料でもっともいいのは、19世紀前半の臨床医学の専門家による記述。女性の身体において、性的オルガニズムの内面的な出来事を描く。どのような資料でそれが記述できたのか、がコルバンの興味。会話、経験でくみ出したにちがいないだろうが。

1880年代から1960年代の時代、避妊できなかつたので、挿入なしで、愛撫のみによって享楽*juissance*を得ていた。

フランソワ・ド・サール (François de Searle)
修道士 「キスの歴史について。放蕩とされていた(禁じられていた)、夫婦間にそういうキスを推奨したこともある。」

田舎フランス、1400件の猥褻の歴史について研究した人によれば、「胸は守らないが、口は守るという習慣があった。」

快楽/苦痛の歴史を比較すると、快楽の歴史は数が少ないのではないか。
苦痛：書かれたテキストあり 苦痛を語ることは尊重されていたが、タブーでもある。
快楽：書かれたテキストが少ない。文学で擬態語、オトマトペ、感歎語で快楽を表現。

XVIIIe

19世紀フランス、ハト式、フィレンツェ式キスは乳房の愛撫より卑猥と考えられていた。

アスピリン(抗炎症・解熱・鎮痛) 1853年ドイツで創製され、1898年医薬として初めて用いられた。(K)
1884年 コーラー Karl Koller(1857-1944)が眼科手術に局所麻酔でコカインを用いる。(K)
1846-49 麻酔の発展 コルバンは、「大衆」「患者」の要望が多かったのではと考える。
1842年 ロング Crawford Williamson Long(1815-78)によるエーテル麻酔で頸部腫瘍摘出術。(K)

ビクトリア女王 (Victoria) 1819-1901
「麻酔で出産(無痛分娩?)」

麻酔への抵抗

看護婦への暴行

苦痛の記憶
患者は同じように苦しむが、記憶を失っているだけである。

キリスト教
十字架で死んだイエス。我々の苦しきは、神への贈り物であるということ

フランソワ・マジヤンディ (François Magendie) 1783 - 1855 生理学
「死体状態をとることは人間にふさわしくない」

外科医
器用さ、素早さといった職人芸が失われ、権威喪失への怖れ

ある外科医の報告
1800頃の患者は1850年の人より苦痛に耐える力があつた。

19世紀と20世紀は3つのAからはじまる言葉で象徴。
L'Anesthésie
L'Analgésique
L'Antalgique

1799年デービー Humphry Davy(1778-1829)
笑気吸入の麻酔作用を発見。(K)